



南会津 のうりんニュース

平成23年1月(第152号)

今月の写真：囲炉裏、ストーブ、しんごろう(下郷町)

一面の雪に覆われた屋外とは対照的に、農家れすとらん蕎屋(きょうや)の店内では囲炉裏に暖かい火が燃えています。自家製農作物を利用した郷土料理を提供しています。

県では昨年4月にハイテクプラザ会津若松技術支援センターと農業総合センターの連携を強化し「県産品加工支援センター」を組織して、食品加工に関する技術開発・技術相談などの支援にあたっています。新年を迎え食品加工に取り組みたいと思われる方は相談してみたいでしょうか。

今月の内容：

- 新年を迎えて
 - ・南会津農林事務所長
- 今月のトピックス
 - ・首都圏に“ほっとする”ひとときをプレゼント♪
 - ・農産物加工セミナーを開催しました！
 - ・森と大地の恵み体験ツアー！
- お知らせ
 - ・南会津地方リンドウセミナー！
 - ・補正予算について
 - ・南会津地方アスパラガス振興セミナー！

平成23年1月21日発行 福島県南会津農林事務所

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。昨年、一年を通して異常な天候が続きましたが、本年は穏やかに過ごせますよう祈るばかりです。

さて、天候は祈るばかりですが、景気は対策を打つことが可能です。

農林事務所といたしましては、昨年11月の県議会において承認をいただいた経済対策補正予算に基づき、平年の年度予算の3分の2に当たる規模で、この1、2月に事業を実施します。(町村の事業として実施されるものもあります。)

ほ場整備や農林道、治山事業など公共事業が主体となりますが、御要望のあった箇所への対応や現在工事中の箇所のスピードアップが図られるものと思います。

さらに、年度替わり時期の事業空白が少なくなり、受注業者の方々が仕事の見通しをつけやすくなりますので、雇用や域内資金循環の拡大などの効果を期待しています。

今年度の事業整理と翌年度の準備のために例年せわしい時期ですが、加えて大規模な事業実施となり、職員一同ねじり鉢巻きでがんばっております。

直接関係される方々ばかりでなく皆様の御協力

南会津農林事務所長 宍戸 裕幸

が不可欠ですので、趣旨御理解を賜り、御支援くださいますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、昨年4月に新たな農林水産業振興計画「いきいき Fukushima 農林水産業振興プラン」がスタートしました。

様々な成果が生まれ、反省点も浮かび上がってきていますので、残り3ヶ月、必要な軌道修正を加えながら次年度の飛躍に繋がるよう努力してまいります。

本年度の取り組み状況については、取りまとめ次第本誌などで御紹介していくことをお約束して、御挨拶といたします。



首都圏に“ほっとする”ひとときを
プレゼント♪

福島県に住んでいると気付かないものですが、福島県を離れると「福島の暖かみ」が恋しくなると感じる方が多いようです。

去る12月19日、県では首都圏にお住まいの「ふくしまファンクラブ」会員等を対象に「ほっとする、ふくしま。大交流フェア」を東京都池袋で開催しました。管内からは、管内の町村等で構成される「会津高原ふるさとづくり協議会（事務局：南会津地方広域市町村圏組合）」や、「NPO法人A.R.S」、「下郷町」、「南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議（事務局：JA会津みなみ、南会津農林事務所）」、「南会津地方振興局」が出展し、地域ぐるみで積極的なPRを行いました。

会場では、「たぐり飴」や「南郷トマトジュース」「じゅうねんかりんとう」等の南会津の特産品販売を行ったほか、これから本格的に売り出そうとしている「食用ほおずき」や「花豆加工品」の試食と、会津大学短期大学の先生や学生による「南会津をイメージしたパッケージデザイン」のアンケート調査を行いました。

また、南会津地方グリーン・ツーリズム推進会議では、只見町の田村幸男さんを講師としてお迎えし、当地方の伝統工芸である「ミニ炭俵作り」体験を行いました。「ミニ炭俵」とは、カヤで編んだ俵に炭を詰め、それを3つ重ねて置物にしたものです。炭が材料のため、脱臭・除湿の効果が

あるのは勿論、趣のあるオブジェとして、首都圏の方々へは特に好評で、途切れることなくお客様がいらっしゃいました。

体験者からは「伝統工芸体験はずっとやりたかったので、こういう場があってよかった」「また来年もやってほしい」「このブースはまた訪れたくなる暖かみがある」など好評をいただき、南会津の伝統文化の持つ魅力の大きさを再認識する結果となりました。



好評だった「ミニ炭俵作り」体験

今回のイベントをとおして、南会津の素晴らしさを首都圏の方々にお伝することができ、今後の誘客への効果を期待しているところです。これからも多くの機会を通じて「南会津」の素晴らしい自然や文化を県内外に発信していきたいと考えています。

(企画部)

農林事務所からお知らせ

南会津地方リンドウセミナー！

リンドウは、福島県を代表する農林水産物11品目「ふくしま恵みのイレブン」にも選定されている重要な品目であり、南会津地方の基幹品目でもあります。この度、リンドウ生産の拡大や、ブランド力の強化を目的としてセミナーを開催します。

リンドウを栽培している方や、今後リンドウを作付けしたいと考えておられる方は、是非ご参加ください。

○日時：平成23年2月1日（火）13:00～16:00

○場所：下郷町ふれあいセンター2階研修室

○講演：「バイオリンドウの生産育成と新規就農者受け入れ支援の取り組み」（仮題）

講師 高橋俊一氏（岩手県花巻市、株式会社T&Gバイオナーサリー）

○受講料：無料

○お問い合わせ及びお申し込み先：南会津農林事務所南郷普及所 担当：野田

電話0241-72-2942

FAX0241-72-2452

農産物加工セミナーを

開催しました！

南 会津地方では、品質が高く多様な種類の農林水産物が栽培されていますが、一部の品目を除き生産量が少ないため大きな市場への対応が困難です。

また、せっかく作っても加工する場所がなかったり、その材料に適した加工方法がとれなかったりして、生食用以外は加工用の原料として地域外へ出荷されているのが現状です。

このため、豊かな地域資源を活用した、南会津地方ならではの加工品の開発が期待されています。

そこで、去る12月6日に南会津御蔵入交流館において、南会津地方における農産物加工の取り組みを推進するためのセミナーを、当事務所主催で開催しました。

まず、県が今年度から設置した「県産品加工支援センター」の職員からセンターの概要と支援内容について説明が行われ、次いで「県産品を活用した魅力ある加工品開発について」と題して、県内各地で特色ある加工品を製造・販売している3



開発事例を紹介しました

事業者の方々に事例紹介をしていただきました。

講演終了後、講師による個別相談コーナーを開設したところ、参加者が多数訪れ、講師に対して熱心に相談をされている姿が印象的でした。

セミナーには、当初の想定を大幅に上回る70名近い方々が参加し、管内における農産物加工への関心の高さを改めて実感しました。これを機会に、講師と参加者、参加者相互のネットワークが広がり、管内の農産物加工が活発化することが期待されます。

(企画部、農業振興普及部)

農林事務所からお知らせ

補正予算について

当事務所に関わる、昨年11月の県議会において議決された補正予算の一部をご紹介します。

県 営2地区、団体営1地区において、安定的な農家経営体の育成のため農業生産性のある農地に整備する基盤整備事業を実施します。また、地域の基幹的な農道を整備するために付帯する取水堰移築工事を行います。さらに安定した農業用水を確保するために老朽化しているため池を改修します。

- 経営体育成基盤整備事業 倉楯地区(下郷町) 区画整理工
中朝日地区(只見町) 区画整理工
- 基幹農道整備事業 糸沢3期地区(南会津町) 農道附帯工
- 中山間地域総合整備事業 ただみ西地区(只見町) ため池工
- 基盤整備促進事業(団体営) 小立岩地区(南会津町) ほ場整備工

(農村整備部)

県 土の保全や、安心して暮らせる災害に強い農山村づくりを目指し、計画的に治山施設を整備します。また、林業生産基盤の整備を図るため、林道等路網の整備を推進します。

- 治山事業 畑の沢地区(南会津町) 谷止工、雷荷場地区(下郷町) 谷止工、立岩山地区(南会津町) 山腹工、寺沢山地区(南会津町) 谷止工、後山地区(南会津町) 山腹工、糸沢地区(南会津町) 谷止工、原ノ入地区(只見町) 山腹工、白沢地区(只見町) 谷止工、間丸貝地区(只見町) 谷止工
- 林道事業(県営) 矢竹阿多根線(南会津町) 開設
- 林道事業(団体営) 白桑山線(南会津町) 開設
黒谷線(只見町) 改良、柴倉寄岩線(只見町) 改良

(森林林業部)

森と大地の恵み体験ツアー！

県では、農林漁業者の方々と消費者の方々が様々な交流を通してお互いに理解を深めるため、「ごちそう Fukushima絆づくり運動」を展開しています。

また、森林環境税により整備した森林を県民の方々に実際に見ていただくなど、森林の多面的機能と森林環境税のPRを行っています。

去る11月7日には、南会津地方における農業の現場や森林づくりを消費者の皆さまに紹介し、農林業の実態や役割について理解を深めていた



森林って大切なんだね。

くため、南会津町南郷地区において「森と大地の恵み体験ツアー 南会津 2010」を開催しました。当日は素晴らしい天気にも恵まれ、20名の参加者は普段の生活では体験できない畜産農家や



おいしい？

南郷トマト共同選果場の見学に歓声を上げていたほか、翌年の美味しい南郷トマトを作るために必要な畑の後片付け作業を体験しました（南会津地

方では「もだっくうし」と言います）。

また、お昼には南郷トマトや会津地鶏など、南会津産の食材をふんだんに使ったお弁当が好評でした。



雪室に大はしゃぎ！

ツアーの最後には、森林環境税を使って整備した森林を見学し、森林の様々な役割について農林事務所の職員から説明を受け、森林整備の重要性と森林環境税への理解を深めました。

今後もこういったイベントを通じて、南会津地方の農林業について考えていただくきっかけづくりをしていきたいと思っています。

（企画部、農業振興普及部、森林林業部）



トマト畑の後片付け頑張ったよ！

農林事務所からお知らせ

南会津地方アスパラガス振興セミナー！

アスパラガスは農業経営の柱となり得る当地方の重要な振興品目です。優良事例を参考にして、収量の向上を目指しませんか？また、新しくアスパラガスを栽培してみませんか？

アスパラガスを栽培している方、アスパラガスの栽培を始めたいと考えている方はもちろんのこと、アスパラガスに関心のある方はどなたでも参加頂けます。

○日時：平成23年2月4日（金）13：30～16：00（開場13：00）

○場所：御蔵入交流館多目的ホール

○講演：「2000万円販売を目指して～県内のアスパラガス経営～」(仮題)

講師 山口 比佐男氏（喜多方市山都町、県内一のアスパラガス生産者）

○講習：県育成品種栽培のポイント、新規栽培について等

○受講料：無料

○お問い合わせ及びお申し込み先：南会津農林事務所農業振興普及部 担当：遠藤、重松

電話0241-62-5264

FAX0241-62-5256



お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

電話 0241-62-5252 FAX0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

南会津農林

検索

バックナンバーはこちらから

みんなが主役。「絆」がつくる



“ごちそう Fukushima”

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。